

NT (準絶滅危惧)

有尾目 サンショウウオ科

カテゴリー判定基準：b), c)

ヒダサンショウウオ

Hynobius kimurae Dunn, 1923

英名：Hida salamander

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1997	2006
—	—	NT

日本固有種

関東地方から中国地方にかけての標高35~1,800mの山地森林の、小さな溪流付近で生活する。全長101~184mm。鋤骨歯列は深いU字型で、四肢は短く、尾は円筒形。背面は紫褐色で黄色の斑点があり、腹面には斑点がない。2~4月頃に源流近くで繁殖し、水中の岩石の下面に虹色光沢のある強靱な卵囊対を産み付ける。産卵数は13~51個。地域によっては幼生のまま越冬する。東海地方を境に、分布域の東西で形態的・遺伝的分化が大きく進んでいる。かつては食用とされたこともあり、近年は各地で砂防堰堤(25)や林道の建設(24)、森林伐採(11)、水質汚濁(31)および愛好者等による乱獲(41)などが生存に悪影響を及ぼしている。

参考文献

- 松井正文, 1981. ヒダサンショウウオ. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(両生類・爬虫類)全国版(その2), pp. 151-158. 日本自然保護協会, 東京.
- 松井正文, 2010. ヒダサンショウウオ. 改訂レッドリスト付属説明資料 爬虫類・両生類, p. 15. 環境省自然環境局野生生物課, 東京.
- Matsui, M., Y. Misawa and K. Nishikawa, 2009. Morphological variation in a Japanese salamander, *Hynobius kimurae* (Amphibia, Caudata). Zool. Sci., 26: 87-95.
- Matsui, M., Y. Misawa, K. Nishikawa and S. Tanabe, 2000. Allozymic variation of *Hynobius kimurae* Dunn (Amphibia, Caudata). Comp. Biochem. Physiol. B., 125(1): 115-125.
- 見澤康充, 2005. 小型サンショウウオ類の年齢. 松井正文(編), これからの両棲類学, pp. 52-59. 裳華房, 東京.
- Misawa, Y. and M. Matsui, 1997. Larval life history variation in two populations of the Japanese salamander *Hynobius kimurae* (Amphibia, Urodela). Zool. Sci., 14(2): 257-263.

執筆者：松井正文(京都大学大学院人間・環境学研究所)

有尾目 サンショウウオ科

カテゴリー判定基準：b)

ブチサンショウウオ

Hynobius naevius (Temminck & Schlegel, 1838)

英名：Blotched salamander

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1997	2006
—	—	—

日本固有種

本州西部(岡山県以西)、九州地方北部の山地森林に分布する。全長91~140mmで、茄子紺色の地に銀白色の斑紋を背面にもち、腹面にも斑紋を有する。鋤骨歯列はV字型。近縁のヒダサンショウウオは腹面に斑紋がなく、背面の斑点は黄色であり、コガタブチサンショウウオはより小型で背面の基色は褐色系で斑紋も小さく、より多い。5~6月に溪流の源流部で水中の石の下や隙間に産卵する。一腹卵数は17~26個。ふ化した幼生は溪流中で水生昆虫などを食べて生活し、秋までに変態して上陸するが、一部はそのまま越冬する。変態直後幼体の全長は27~31mm。変態後は落葉や倒木、石等の下、砂礫中に潜み、クモ、ワラジムシ、ナメクジなどを捕食する。本州ではヒダサンショウウオやハコネサンショウウオと、九州地方(西部を除く)ではコガタブチサンショウウオと混生していることもあり、本種の幼生がヒダサンショウウオの幼生に捕食されるという報告がある。道路建設(24)やダム建設および砂防ダムへの土砂堆積(25)、森林伐採(11)が生存に悪影響を及ぼしている。

参考文献

- 松井正文・見澤康充, 1996. ブチサンショウウオ. 千石正一・疋田努・松井正文・仲谷一宏(編), 日本動物大百科5 両生類・爬虫類・軟骨魚類, pp. 19-23. 平凡社, 東京.
- 松井正文, 2010. ブチサンショウウオ. 改訂レッドリスト付属説明資料 爬虫類・両生類, p. 15. 環境省自然環境局野生生物課, 東京.
- Tominaga, A. and M. Matsui, 2007. Estimation of the type locality of *Hynobius naevius* (Temminck and Schlegel, 1838), a salamander from Japan (Amphibia: Caudata). Zool. Sci., 24: 940-944.
- Tominaga, A., M. Matsui, K. Nishikawa and S. Sato, 2003. Occurrence of two types of *Hynobius naevius* in northern Kyushu, Japan (Amphibia: Urodela). Zool. Sci., 20(12): 1467-1476.
- Tominaga, A., M. Matsui, K. Nishikawa, S. Tanabe and S. Sato, 2005. Genetic differentiations of *Hynobius naevius* (Amphibia: Hynobiidae) as revealed by allozyme analysis. Biochem. Syst. Ecol., 33: 921-937.
- Tominaga, A., M. Matsui, K. Nishikawa, S. Tanabe and S. Sato, 2005. Morphological discrimination of two genetic groups of a Japanese salamander, *Hynobius naevius* (Amphibia, Caudata). Zool. Sci., 22: 1229-1244.

執筆者：松井正文(京都大学大学院人間・環境学研究所)